

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度 第2回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	平成30年7月23日（月）（午後2時00分～午後3時50分）
開催場所	戸田市福祉保健センター 講習会室1・2
出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>埼玉県立大学教授：上原 里程 蕨戸田歯科医師会：板橋 裕          蕨戸田市医師会：早船 直彦 埼玉県南部保健所：斉藤富美代          戸田市薬剤師会：成塚 康之 戸田市社会福祉協議会：田中 庸介          戸田市食生活改善推進委員会：西村 直美 戸田市商工会：金子 秀一          市 民 委 員：加藤 由美 市 民 委 員：今西久美子          市 民 委 員：山岸 勝文</p>
欠席者	戸田市町会連合会：稲垣 茂
事務局	<p>福祉部：吉野部長</p> <p>福祉保健センター：篠原所長、増澤課長、渡辺課長、高屋課長、小池主幹          岡本主幹、中島副主幹、矢作副主幹、林主任、山口主任</p>
傍聴人	なし
議題	（1）第3次戸田市健康増進計画（戸田市自殺対策計画、戸田市歯科口腔保健推進計画）及び第2次戸田市食育推進計画について
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 第2回戸田市保健対策推進協議会 次第</li> <li>・戸田市保健対策推進協議会委員名簿</li> <li>・第3次戸田市健康増進計画（戸田市自殺対策計画、戸田市歯科口腔保健推進計画）及び第2次戸田市食育推進計画</li> <li>・2017年度版 戸田市福祉保健センター年報</li> <li>・市民アンケート調査結果報告書（平成30年度から委員になった方のみ）</li> </ul>

(会議発言の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<b>■次第1 開会</b> 本日の出席委員数は、12名中、出席11名、委任状1名、本協議会条例第6条第2項により本協議会の会議は成立したことを報告する。
福祉部長	<b>■次第2 挨拶</b> 挨拶
会長	挨拶
会長	<b>■次第3 議題</b> <b>議題(1) 第3次戸田市健康増進計画(戸田市自殺対策計画、戸田市歯科口腔保健推進計画)及び第2次戸田市食育推進計画について</b>
事務局	計画の素案について、事務局説明をお願いする。
事務局	第1回会議の振り返り。計画の概要、構成、基本理念(考え方)、目標、重点取組を説明する。
会長	計画の素案の第4章、第5章について、議論していきたい。 まずは、第5章 第2次戸田市食育推進計画の課題と取り組みについて気付いた点はあるか。
委員	戸田市民は朝食の欠食が目立っているとのことであるが、7月に親子料理教室を開催し、30組の親子にアンケートを行った。朝食は半数が食べるとの結果であった。料理教室に来る家庭は、食への関心が高い。特に最近、父親で食育に興味のある方が増えている。幼児が参加できる料理教室が増え、また、乳幼児の兄弟を預ける場所を設けて、食育を受けさせる機会がもっとほしいとの意見が多い。 一方、食生活改善推進委員会(食改)の今のやり方は古く、若い方へ広げるためには、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)での情報発信が必要である。 埼玉県では「コバトン健康メニュー」を打ち出し、埼玉県下の全食改が食塩3g以下のメニュー開発に取り組み、県のホームページで紹介しているが、若い人たちに見てもらえるようにするのが今の課題で、SNS等でもっと広める必要がある。 親子料理教室などの食育事業に、食育に興味の無い人たちに、どのような手段で参加する機会を知らせるか、また参加するように促すか、食育に興味が無い親の子どもをどう拾い上げていくかが課題である。
委員	健康福祉まつりで食育の取組は行っているか。
事務局	平成24年度からテーマを変えて実施している。昨年度は災害時の食をテーマで

	<p>実施した。毎年、朝食だけに特化して実施はしていない。</p> <p>平成30年6月に食育推進月間で朝食摂取と野菜摂取をテーマにPR。市内JR3駅の駐輪場にポスター掲示した。</p>
委員	<p>自分が子育てをしていた頃は、親が子どもの食に対して責任を持つのが、当然だと思ってきた。しかし、今の家庭ではそうではない部分があると思う。未就学児、学校等での食育も市から定期的に情報発信してはいかがか。親が食育に興味が無くても、子どもに対しては、学校等で食育を行い、大人になるまでに、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得してもらいたい。</p>
事務局	<p>公立保育園では、園だよりを配布するなど食育をやっていると聞いている。また、小中学校では、学校教育の中で、定期的に食育に関するお知らせ等を親向け、子ども向けに行っている。未就学児に対しては、1歳児健診以降の各健診時に個別指導をしている。また、私立と公立保育園の栄養士の共同会議もある。</p>
会長	<p>循環する「食」について委員からご意見はあるか。</p>
委員	<p>戸田市での農作物の地産地消は難しい。また、農協で地産地消に関する催しを年に数回行っているが、広い場所もなく、短時間でしかイベントが開催できないので、市民が農作物に触れる機会が少ない。</p>
委員	<p>市内には、わずかな農地しかなく、第1次産業がほぼ無い戸田で地産地消は難しい。戸田市産にこだわらず、埼玉県産と捉えても良いのでは。</p>
委員	<p>スーパーマーケット等を巻き込んで、埼玉県の地産地消を進めてはどうか。</p>
委員	<p>熊本県の「くまモン」の活用は参考にすべき良い事例である。熊本県産の商品には、なんでも「くまモン」シールが付いており、一目で熊本県のもの分かる。もっといろいろなものに「コバトン」を付けて埼玉県をPRしてはいかがか。</p>
委員	<p>姉妹都市である埼玉県美里町を呼び、収穫祭と商工祭を市役所の敷地でそれぞれ年1回開催している。喜沢地区や美笹地区からは、多少距離があり、参加しにくい。埼玉県の地産地消の啓発を市内全域で行えている実感はない。</p>
委員	<p>食品ロス対策として、フードバンクなどの事業を市で行っているか。</p>
福祉部長	<p>市としては、フードバンクは行っていない。市内ではNPOが行っている。生活自立相談センターに生活相談に来る経済的に困っている人に配布している。</p>
委員	<p>生活困窮世帯の親ではなく、中高生などの子どもたちに、自分で（子供が）作れ</p>

	<p>るメニューのレシピを情報提供し、食育してみてもどうか。自分の健康は自分で守るとのこと。</p>
会長	<p>次に戸田市健康増進計画について委員から質問や意見を伺いたい。まず第2節運動についてご意見等あるか。</p>
委員	<p>戸田市スポーツセンターのジム施設が充実している。しかし、昼間仕事をしている社会人には、利用出来る時間が限られており、利用しにくいと聞いているが、利用状況はどうか。</p>
事務局	<p>スポーツセンターのジム施設は、広く機器も新しいので、民間施設に負けていない。平日の午後7時以降と土日の午前中と夕方は混んでいる。土日でもお昼頃と午後3時頃は、あまり混んでいない。</p>
委員	<p>戸田市は運動に関しては、良くやっていると思う。市民の健康に対するニーズは高まっているのではないか。</p>
委員	<p>リズム体操や元気体操は、多くの市民がやっている。他のスポーツに関してもやっている市民は多いと思うが、若い世代の運動習慣があまりないのか。</p>
委員	<p>市には、運動することに対する意識の低い人が運動するような仕掛けづくりを行ってほしい。</p>
会長	<p>続いて第3節 休養とこころの健康（戸田市自殺対策計画）について意見等はあるか。</p>
委員	<p>平成24年から日本全国の自殺の実数は年々減っていて、半分になっている。埼玉県も戸田市も同様の傾向である。</p> <p>独居の方の死亡率が高いが、独居の方に対しては、保健所も市と一緒に、啓発や相談支援の充実に取り組みたい。</p> <p>戸田市は喫煙率も高いが、飲酒率も高い。飲酒は、自殺対策との結びつきもあり、身体への対策だけでなく、心の健康にも関わるので、飲酒との関連について、第3節の中で少し触れていただきたい。</p>
会長	<p>第4節 歯と口の健康（戸田市歯科口腔保健推進計画）についてご意見等を伺いたい。</p>
委員	<p>戸田市の子どもの歯の健康状態は、全国比、埼玉県比で非常に良い。一方で、成人の歯科健診受診率と歯周病の人の割合は悪い。</p> <p>市から市民へ向けて、歯科健診の周知はよくやっていると思う。今後、周知の成</p>

	<p>果が出て成人歯科健診受診率が向上することを期待している。口と歯の健康状態は長年蓄積されてきたものなので、急に改善することは無いが、今後、健診受診率と共に口腔環境も向上するものと期待する。</p>
委員	<p>社会福祉協議会での高齢者への歯科に対する取組はないが、支部活動で、歯の健康への関心は低くはない。高齢の方が、若かった頃、口と歯の健康を意識する人は少なかったのではないかと想像ができる。今は、皆意識が高いので、今後良くなると思う。</p> <p>他の委員の意見を聞いていると、計画書についての意見よりも、今後この計画をどのように推進していくかに興味があるように感じる。第6章で計画の推進と評価があり、委員の意見を反映させるとハードルが高くなるが、私も期待したい。</p>
委員	<p>小学校の学校公開に行ってきた。1時間、先生が子どもたちにブラッシングを教えていた。市は、やっていることをもっとしっかりとアピールすべきだ。</p>
会長	<p>第6節 喫煙について、ご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>禁煙外来は特定の製薬会社の宣伝になってしまうが、この計画を基に少しずつ受動喫煙対策を進めていければよい。</p>
会長	<p>戸田市の受動喫煙防止対策ガイドラインは、どこで見ることが出来るか。小中学校にも置いてあるか。</p>
事務局	<p>市のポータルサイトで公開している。小中学校には置いていない。</p>
委員	<p>小中学校の敷地内は禁煙である。先生に受動喫煙防止の意識を持ってもらった方が良い。</p>
委員	<p>慢性閉塞性肺疾患（COPD）の周知をもっとしていただきたい。</p>
委員	<p>COPDの講演会を開いたことがあるが、全く人が来なかった。</p>
事務局	<p>健康福祉まつりでCOPDをテーマにしたこともあった。今後も取り上げていきたい。</p>
委員	<p>喫煙出来ない場所を作り広めていくことが、社会の大きな流れになっている。</p>
会長	<p>他に何か委員から意見や質問はあるか。</p>
委員	<p>計画書のP. 34の健診（検診）受診率について記載があるが、受診率向上には、</p>

	個別勧奨通知が有効である。若い人たちに積極的に受診勧奨通知をしてほしい。少し厳しいショッキングな言葉で、通知してほしい。
委員	社会人は、仕事を休んでまで、健診を受けない。若い人たちが、仕事を休まなくても健診を受けられる機会を設けてほしい。
委員	以前、戸田中央総合病院では、日曜日にも健康診断を行っていたが、人が来なかったなので、やめてしまった。
委員	胃がんの内視鏡検査を毎年受けられるようにはならないのか。
事務局	胃がんの内視鏡検査を実施できる医療機関が限られているので、今のキャパシティを考えると2年に1回である。
委員	計画書の「取り組み」のところは、「【市民】と【地域】ができること」では弱い。最終的には個人が気付いて、自分で行うことなので、全て「【〇〇】が取り組むこと」で揃えてみてはどうか。
事務局	みんなで取り組もうという意味を表現するため、「取り組むこと」に統一する。
委員	福祉保健センター年報への質問である。平成28年の出生率（人口千対）が10.9となっているが、国の数字はどうか。
事務局	この出生率は、人口千人当たりで、10.9人が1年間に生まれるという数字で、国（厚生労働省）が出している合計特殊出生率は、一人の女性が生涯で生む子どもの数なので、異なるものである。
委員	国（厚生労働省）が出している合計特殊出生率は、平成23年から平成27年の埼玉県平均は1.25であるが、戸田市の同時期は、1.47と高い数字である。
委員	計画書のP. 17の表は、凡例がグラフの中で、きちんと表示されていない。分かるようにしてほしい。
会長	特にご質問等がないので、これで全ての議事が終了した。事務局へお戻しする。
事務局	<p>■閉会</p> <p>以上で平成30年度第2回戸田市保健対策推進協議会を閉会とする。</p> <p>次回の開催は、平成30年10月15日（月）午後2時から、市役所5階大会議室で開催を予定している。</p>

--	--